

※English version of this guideline is not available now.

If you need any assistance, please feel free to ask our staff at Waseda Global Gate, 1st floor of building #22.

2015年度 早稲田大学派遣留学 冬募集要項

早稲田大学 留学センター

目次	ページ
1. 対象プログラム概要	p. 2
2. 出願資格	p. 4
3. 選考スケジュール	p. 7
4. 出願方法	p. 8
5. 選考について	p. 11
6. 留学期間について	p. 16
7. 費用について	p. 17
8. 派遣留学奨学金	p. 18
9. プログラム別 特別講座	p. 19
10. 留学中の単位について	p. 19
11. 査証（ビザ）取得について	p. 20
12. 危機管理について	p. 21
13. 付録	
・ 出願提出書類 カバーレター	
・ 出願提出書類 カバーレター（アールム・カレッジ DD 出願者用）	
・ 大学派遣留学プログラム誓約書	
・ 2015年度 早稲田大学派遣留学プログラム（非英語）語学能力証明書	

出願に際して 《重要》

- ❑ 出願後の辞退は認められません。 この冊子に書かれていることを熟読、プログラムリストの内容をよく確認、理解した上で出願してください。
- ❑ 派遣候補者となった後は、原則として辞退することはできません。 正当な理由なく辞退した場合、それ以後の留学センター中・長期派遣留学プログラムへの応募資格が失われます。
- ❑ 派遣候補者となった後においても、選択科目、学業不振、書類提出の締め切りを守らない場合、必要な手続きを行わない場合や、オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないとして留学センターが判断した場合は、渡航直前や渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。
- ❑ 各学部・研究科で独自に行われている箇所間協定プログラムについては直接所属箇所の事務所に確認してください。

1. 対象プログラム概要

(1) 交換留学 (以下 EX)

- ・ **対象者：**学部生、大学院生
- ・ **派遣人数：**各校 1～3 名程度
- ・ **期間：**1 セメスターまたは 1 学年間
- ・ **プログラムの特徴：**
海外の協定校から留学生を受け入れ、同時に早大生を派遣する制度です。現地の学生とともに正規科目を履修することができます。多種多様な国の大学が協定校となっています。
- ・ **費用：**
早大の所属学部・研究科の学費等を納めることで、派遣先の学費が免除されます。
※一部プログラムを除く。ただし、協定校によってその項目の意味合いや呼び方は異なりますが、College Fee、Technology Fee、Mandatory Fee など、学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります。

(2) 交換 TSA プログラム (以下 EX(TSA))

- ・ **対象者：**学部生
- ・ **派遣人数：**各校 1～3 名程度
- ・ **期間：**1 セメスターまたは 1 学年間
- ・ **プログラムの特徴：**
上記(1)の交換留学生として、主に非英語圏の協定大学に派遣されます。下記の(3) TSA プログラムの学生と同じように語学力向上のための講義を受講します。語学初心者から参加ができるプログラムがほとんどです。語学要件を満たすことが出来れば、次のセメスターから通常科目を履修できる場合もあります。
- ・ **費用：**
早大の所属学部の学費を納めることで、派遣先の学費が免除されます。(一部例外あり)

(3) Thematic Studies Abroad プログラム (以下 TSA)

- ・ **対象者：**学部生
- ・ **派遣人数：**
プログラムによって異なりますが、概して多めとなっています(10～30 名程度、プログラムによっては 2～3 名くらいの場合もあり)。
- ・ **期間：**1 学年間
- ・ **プログラムの特徴：**
「テーマに基づいた学習」を中心に履修カリキュラムが組み立てられます。現地大学での授業を補助する語学力向上のためのサポートが多く存在するのが特徴です。北米、オセアニア、ヨーロッパ、アジアなどにプログラムがあります。
- ・ **費用：**
学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費(1 学年期間 10 万円)を含む「プログラムフィー」を早大に支払うことによって、早大の学費等が免除されます。【注】

(4) Individualized Studies Abroad プログラム (以下 ISA)

- ・ **対象者：**学部生
- ・ **派遣人数：**プログラムによって異なります。
- ・ **期間：**1 学年間
- ・ **プログラムの特徴：**
交換留学と同様、ある程度自由に科目を履修できるプログラムです。語学力が一定の基準よりも低い場合、語学の勉強を義務づけられる場合もあります。北米、イギリス、アイルランドにプログラムがあります。
- ・ **費用：**
学生は派遣先大学の学費等およびプログラム開発・運営費（1 学年期間 10 万円）を含む「プログラムフィー」を早稲田大学に支払うことによって、早稲田大学の学費等が免除されます。【注】

(5) ダブルディグリー・プログラム (DD)

- ・ **対象者：**学部生（プログラムにより対象学部が異なります。）
- ・ **派遣人数：**各校 2～15 名程度
- ・ **期間：**プログラムにより派遣期間が異なります。
- ・ **対象大学（2015 年度）：**
北京大学、国立台湾大学、シンガポール国立大学、アールラム・カレッジ
※冬募集はアールラム・カレッジのみ対象
- ・ **プログラムの特徴：**
海外の名門大学に留学し、所定の要件を満たした場合は、早稲田大学を卒業する際に、派遣先大学の学位を取得できるプログラムです。ただし、参加者には各大学が要求する言語の高度な読解力、聴解力、会話力が要求されます。また、プログラムの修了要件を満たさない場合は学位が取得できないこともあります。
- ・ **費用：**
EX と同様に早大の所属学部の学費等を納めます。ただし、アールラム・カレッジの場合は TSA や ISA プログラムと同様に、派遣先大学の学費等を早稲田大学に支払うことによって、早稲田大学の学費が免除されます。いずれの場合も、ダブルディグリー登録料（15 万円）が別途必要になります。

【注】ここでいう「学費等」とは、授業料、施設費（教育環境整備費）、実験実習料、演習料、実験演習料、学生読書図書費を指しますが、実際に免除となる項目については、所属学部・研究科によって異なります。また、学生健康増進互助会費は免除の対象とはなりませんが、留学中に学生健康増進互助会の利用がなかった場合には、帰国後に所定の手続きにて返還請求をすることで返金されます。詳しくは帰国後、学生生活課（学生会館 1F、E-mail:gakusei-kenko@list.waseda.jp）にお問い合わせください。

※延長生で交換留学にて留学をする学生については、延長生学費ではなく、各学期とも所定額を徴収されます。大学院の延長生の場合、研究指導のみとなっている者で派遣先でも研究指導のみを受けることを出願時に申し出た場合、2005 年度以前の入学者については、春期は所定額、秋期は研究指導料のみの徴収となり、2006 年度以降の入学者については、各学期とも所定額の 50%の徴収となります。

2. 出願資格

※下記の（１）～（４）を満たさない場合は、自動的に出願が無効になります。

（１）出願資格

プログラム出願時および留学期間中を通して、本学の学生（正規課程）として在籍し、学業成績・人物ともに優秀な者。プログラムにより、大学院生、学部生、学年、国籍などが限定されているものがあります。

※出願先によっては、出発時に早稲田大学で４セメスター履修していること等、別途規定が設けられている場合もあるので、プログラムリストをよく確認の上、出願してください。また、出願するにあたり事前に所属学部・研究科に応募の可否について確認してください。

※出願先によっては、二重国籍を保有する学生を受け入れない大学もあります。該当する可能性のある方は、必ずご両親に二重国籍の有無を確認してください。その上でプログラムリストでの国籍条件をよく確認の上、出願してください。

※二重国籍を保有しているにも関わらず、留学センターに届け出ずに受入れ不可のプログラムに出願し、留学センターの派遣候補者として選出された場合でも、ビザの手続きをする際に二重国籍のことが判明します。その場合、ビザが発給されず、留学できないばかりでなく、それ以降の留学センタープログラムへの出願資格が失われますのでご注意ください。

※出願時に４年生で大学院に進学を予定している出願者については、出願資格について事前に学部・研究科に確認してください。また留学センターにもその旨連絡をしてください。

※人間科学部 e スクール（通信教育課程受講者）はカリキュラムの関係上、出願資格を有しません。

◆国際教養学部の学生の場合◆

※国際教養学部の学生は出発時に３セメスター以上を早稲田大学で履修していることが必要です。ただし、春入学の学生で１セメスターの時に交換留学プログラムに出願する場合は、２セメスター以上履修していれば出発可能です。

※国際教養学部の学生が留学を終了した直後の学期末にそのまま卒業することは原則として出来ません。

※非英語・英語プログラムにおける１セメスタープログラムは、国際教養学部（SP1 学生）において必須とされている１学年間の海外留学の条件を満たしませんので注意してください。

（２）語学能力

（２）－１．英語プログラム

要求スコアを超えた TOEFL のオリジナルスコアカード (Examinee Score Report) を提出できることが出願条件です。プログラムリストに明記されていますが、いくつかのプログラムには、TOEFL-ITP のスコアカードでも出願可能です。

※2013 年 1 月以降に受験したもの。TOEFL の有効期限は 2 年間であり、学内選考後派遣先大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が派遣協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。

その際、再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、派遣先大学からの受入許可が出ない場合もあります。その場合、別の大学への出願は間に合わないので、注意してください。

※TOEFL の Examinee Score Report は、オンラインでのテスト申込時に My Home Page のスコア通知設定 (Score Reporting Preference) ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。

※イギリスのプログラムについては、イギリスのビザ取得規定の変更にともない、学内選考で IELTS 試験の結果も提出可能です。通常通り TOEFL のみでの出願も可能ですが、派遣大学が定める所定期間までに TOEFL 以外の言語能力の証明が必要になります。アメリカ等のプログラムと併願する場合は TOEFL のスコアが引き続き必要になります。詳しくは **1 1. 査証（ビザ）取得について (p. 20)** を参照してください。

※日本国籍以外の方は、オーストラリアのプログラムに出願する場合、留学ビザ申請時に TOEFL 以外の試験でも各協定校が要求するスコアをあらかじめ取得していることが条件となります。

(2) - 2. 非英語プログラム

各種語学能力証明書（原本）の提出が求められているプログラムに応募する場合は、要求レベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本を提出できることが出願条件になります。また、一部の非英語プログラムでは語学初級者でも応募可能な語学プログラム(Language Program) があります。

(2) - 3. 派遣先から求められる語学能力・語学プログラム

学内選考の際に TOEFL の条件を満たしていても、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。また、非英語圏に留学する場合にも、語学力が十分でないと、派遣先の大学の判断により、派遣先の大学で語学コースへの参加を求められることがあります。

その際、語学コースに参加するための費用が、TSA、ISA プログラムに参加する場合に支払うプログラムフィーに含まれていないこともありますので注意してください。

EX の場合でも、語学コースや特別なコースに参加する場合、早大の学費等の支払いに加えて、現地で別途追加費用の支払いが必要な場合もあります。

(3) 必要とされる GPA

プログラムによっては GPA が要求されます。学内選考時、GPA が現地大学の要求を満たしていない場合は選考対象外となりますので、ご注意ください。

Waseda-net ポータルより「成績照会」内の各科目の成績を各自確認し、計算してください。

学内派遣選考で使用する GPA の計算式は以下の通りです。この計算式は留学センターが派遣留学学内選考用に独自に定めたもので、学部・研究科での算出方法と異なります（2010 年度以降に入学した方の単位修得状況の照会画面に表示される GPA の数値とは異なります）。

$$\{ (4.0 \times A^* \text{取得単位数}) + (3.5 \times A \text{取得単位数}) + (3.0 \times B \text{取得単位数}) + (2.0 \times C \text{取得単位数}) + (0 \times F, G, H \text{等単位数}) \}$$

総履修単位数（卒業算入科目として登録した単位数の合計）

※総履修単位数とは取得単位数と F、G 等となった科目の単位数を合算したものをいう。

成績評価と成績表記の関係は以下の表を参照してください。2009 年以前入学のアジア太平洋研究科の学生も、「学内選考で使用する成績表記」を使用して GPA を計算してください。

評価（素点）	学内選考で使用する成績表記
100～94	A ⁺ (4.0)
93～90	
89～87	
86～83	A (3.5)
82～80	
79～75	
74～70	B (3.0)
69～60	
59～50	
49～0	F [※]
	G [※]

※F と G の範囲は各学部、研究科で異なります。H は不受験。P と N は GPA 計算には含めません。

※学部の 1 年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPA が算出できない場合は、GPA 要件のあるプログラムへは出願できません。GPA 要件の無いプログラムに出願する場合は、高校の英文成績証明書を提出してください。

(4) 留学中の必要経費の負担

留学中にかかる費用について、保証人とよく相談し、十分な経済力を有していることを確認してから応募してください。

学内での派遣候補者の Waseda-net 個別通知発表後、派遣先大学への出願手続や VISA 取得の手続において、留学期間中の費用が準備されていることを証明するために、金融機関の残高証明書の提出が必要となる場合もあります。提出時期の締切りが早いところでは、2015 年 2 月に設定されているプログラムもあります。留学の奨学金への申込みは、派遣先大学が決定後に手続きの案内を行います。

負担費用については **7. 費用について (p. 17)** を参照してください。

3. 選考スケジュール

日程	時間	内容・会場
12月17日(水)	正午	冬募集 対象プログラム発表
12月18日(木)～ 1月13日(火)	正午～ ※13日(火) 00:00 締切、 12日(月)中の 申請のみ受付	WEB出願登録 ・Waseda-netポータルにて ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。早めに希望校を検討して登録するようにしてください。 ・ 終了時間に注意 締切後の登録はいかなる理由があろうと受け付けません
1月12日の週の 6時限	対象者に 後日連絡	面接必須英語出願者対象英語エッセイテスト ・対象プログラムに出願するためには受験必須です。 中国語レベル判定試験(中国語プログラム応募対象) ・EX⇒ 受験必須 ・EX(TSA)、TSAに出願する場合⇒受験不要 会場 : いずれも22号館を予定
1月14日(水)・ 1月15日(木)	12:00～17:00	出願必要書類受付 会場 : 22号館1階 Waseda Global Gate ・最終日は大変混み合い、締め切り時間内に受け付けができず、出願ができないことがあります。早めに提出するようにしてください。
1月19日の週	12:15～13:00 18:00～19:00 のいずれか 対象者に 後日連絡	面接必須英語プログラム面接試験 ・エッセイテスト通過者のみ 非英語面接試験 ・非英語 EX プログラム全応募者対象 ※EX(TSA)、TSA のみの志望者は除く
2月2日(月)	13:00以降～	学内選考結果発表 ・Waseda-net 個別通知にて
2月9日(月)	後日連絡	派遣候補者決定直後オリエンテーション ・必ず出席してください。 ・当日は出欠を確認します。 (スケジュールは変更になる場合もあります。)
2015年3月より 順次		面接必須英語プログラム ・ライティング強化講座の受講(詳細後日連絡)

4. 出願方法

(1) WEB 出願登録

Waseda-net ポータル (<https://www.wnp.waseda.jp/portal/portal.php>) 「国際交流・留学」の「派遣留学-WEB 出願登録」から出願者本人が、WEB 出願登録をしてください。



具体的入力が必要な下記項目①～⑤を事前に準備しておく、スムーズな出願登録手続きが行えます。

① 個人情報

- ローマ字 (半角大文字) (原則: パスポートと同じ表記、ない場合は通称表記) による氏名、国籍、電話番号、携帯電話、Waseda-net メールアドレス、緊急連絡先氏名と電話番号。
※派遣先の大学によっては、日本国籍以外の国籍を所有する学生の留学を認めていない場合があります。二重国籍をお持ちの方は、必ず質問項目に記入してください。

② 志望プログラム

②-1. 選考カテゴリー

各プログラムは、選考の方法によって以下のカテゴリーに分かれます。

- A. 面接必須英語プログラム
- B. 非英語プログラム
- C. イギリスの大学のプログラム
- D. 上記 A、B、C、以外のプログラム (英語の EX、TSA、ISA プログラム)

条件を満たしたうえで、**最大で第5志望まで**選択することができます。あらかじめ志望プログラムを確定したうえで検索画面から選択して、「選択確定」ボタンで確定してください。

- 今期の募集対象校の最新情報は、
<http://www.cie-waseda.jp/programlist/index.html> にてご確認ください。
- 2015 年度冬募集対象留学先大学・プログラムの一覧は
http://www.waseda.jp/cie/pdf/studyabroad/2015/2nd/2015winter_recruitment.pdf
にてご確認ください。

②-2. 優先順位

選考カテゴリーと選考優先順について、以下の条件があります。

	A. 面接必須英語	B. 非英語	C. イギリス	D. 英語	
第1志望	○	○	○	○	
第2志望	○	○	○	○	
第3志望	○	○	○	○	
第4志望		○	○	○	
第5志望		○	○	○	
志望順位	高				低

②-3. 詳細

A. 面接必須英語プログラム

- ・ 第1～3志望の範囲でのみ選択可能です。対象校は以下となります。

◆対象校◆

- ・ アーラム・カレッジ（米・DD）
- ・ ペンシルバニア大学（米・ISA）
- ・ パリ政治学院（ル・アーブル校、ランス校も含む）の英語プログラム（仏・EX）

B. 非英語プログラム

C. イギリスの大学のプログラム

D. 上記A、B、C以外のプログラム（英語のEX、TSA、ISA、中期プログラム）

- ・ B、C、Dを併願する場合には、Aより下位志望で選びます。
- ・ C. イギリスの大学のプログラムに出願する場合は、D. その他の英語プログラムよりも上位志望で選んでください。
- ・ 英語プログラムと非英語プログラムを併願する場合には、非英語プログラムの選考を先に行うため、非英語プログラムを英語プログラムよりも上位志望に設定し、英語プログラムをその下位志望とする場合のみ併願が可能です。

- ※ 以上の条件以外には、制約はありません。
- ※ 一つの大学に複数のプログラムがある場合、それぞれプログラムコードが異なります。
プログラムの選択をする際には、大学名のみではなく、プログラム内容を含め、コード番号の選択に間違いのないように注意してください。
- ※ 候補者として選ばれた後は原則として辞退が認められません。出願する際には、このことを十分に念頭に置き手続きを行ってください。

《出願例》

第1志望	Aーパリ政治学院の英語プログラム（面接必須英語・EX）
第2志望	Bーボン大学（ドイツ語・TSA）
第3志望	Cーグラスゴー大学（イギリス・TSA）
第4志望	Dーハワイ大学（イギリス以外・TSA）
第5志望	Dーインドネシア大学の英語プログラム（イギリス以外・EX）

③ 語学能力証明

英語によるプログラムに出願の場合は、希望するプログラムの要求スコア (Section スコアも含む) を超える TOEFL の iBT, PBT いずれかのオリジナルスコアカード (Examinee Score Report) の提出が必要です。TOEFL-iBT については、WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。ただし、後日そのプリントアウトと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。

※TOEFL の Examinee Score Report は、オンラインでのテスト申込時に My Home Page のスコア通知設定 (Score Reporting Preference) ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。

- TOEFL-ITP で出願可能なプログラムのみを希望する場合には、TOEFL-ITP のスコアカードのみの提出でかまいません。ただし、**iBT, PBT いずれかのオリジナルスコアカード (Examinee Score Report) が必要なプログラムも併願している場合には、両方のスコアカードが必要**です。TOEFL-ITP のみの提出の場合、iBT, PBT 要求プログラムは選考対象外となります。

◆イギリスのプログラムに関して◆

UKVI (UK Visa and Immigration) によるイギリスのビザ規定の変更に伴い、イギリスの大学へ留学をする場合、ビザ発行に必要な書類 (CAS) の取得に際し、TOEFL 以外の英語能力試験の受験が必要になりました。

(例) IELTS (Academic)

Pearson Test of English Academic

※TOEFL は原則英語力の証明として承認されません。

【注意】

留学センターで実施する 2015 年度派遣留学冬募集の学内選考では、イギリスの大学へ出願される方は **IELTS のスコアも選考の要素として提出を受け付けます**。ただし、PL (Program List) では昨年募集時の基準点を掲載していますので、**学内選考では TOEFL のみのスコア提出も可能**です。さらに、**イギリスだけでなく、アメリカ等他の英語圏に併願する場合は引き続き TOEFL のスコアの提出が必要**ですので、ご注意ください。

1 1. 査証 (ビザ) 取得について (p. 20) も合わせてご確認ください。

- 非英語によるプログラムに出願する場合は、今回募集対象となる言語種別を選択してください (複数選択も可)。ただし、教員による語学能力証明書など、必要な書類は選択した言語それぞれに必要です。
- 非英語によるプログラムに出願の場合は、語学学習状況・学習計画報告に語学学習歴 (学習年数〇年、学習機関〇〇、週〇時間〇コマ、のべ学習時間〇時間) と、現在および今後の学習計画、その他語学学習や能力に関しての特記事項があれば記入してください。
- 非英語によるプログラムに出願の場合は、該当言語で行われる授業やプログラムについていけるレベルを有する客観的な証明として、**「a) 各種語学能力試験等公的試験のスコアやレベル (仏検、独検など)」**を出来る限り提出してください。また、その言語を指導してくれた学内教員またはその言語に堪能な教員による **「b) 教員による語学能力証明」**については**必ず提出**してください (EX (TSA)、TSA、中期のみへの出願者を除く)。教員による語学能力証明は教員の方に**留学センター指定の厳封用封筒で厳封してもらった状態**で留学センターに提出してください。
- 応募プログラムが、母国語のプログラムなどの理由で、語学能力証明書を提出できない場合には、その理由を証明書欄に記述して、提出してください。
- 既に他の留学プログラムにて現在留学中の場合は、理由にその旨を記入し、現在の語学能力を証明できる教員に依頼し、**厳封した状態で提出してください**。

④ 学習・研究計画書

制限字数以内で記入してください。和文と英文のいずれでもかまいません。

◆問題◆

次の問題に対して、自分自身でよく考え、自らの言葉で記述しなさい。和文・英文ともに、細かな文法的なミス等は、採点の要素とはしないので、必ず自分自身で書き上げること。

問：留学を希望する理由について、以下の点に触れつつ、**1200～2000 字**で記述しなさい。
英文の字数制限は、**600～1000 words** 程度とする。

1. 現在、早稲田大学で学んでいること、これから学びたいこと。
2. 留学を通して得たいこと、今後の人生に活かしたいこと、今後のキャリアプラン
3. 出願している志望プログラムの志望理由
4. 自分自身の長所や短所（協調性や異文化への適応力について）

※面接必須英語プログラムに出願する学生は必ず英語で記入してください。

※学習・研究計画書は派遣先大学決定後に必要に応じて先方に直接送付されることがあります。
あらかじめご了解ください。

登録完了確認、申請内容の確認メールがすぐに送信されます。（5 分以内）

- ・ 申請内容の確認メールの内容に間違いがないかを確認してください。メールの設定によっては、文字化けする場合がありますが、こちらに登録されたデータ上は問題ありませんのでご安心ください。
- ・ 届いていない場合は出願登録が完了していないことになりますので、必ず届いていることを確認してください。
- ・ **志望プログラムに誤りがないか、十分に確認してください。** 同一大学でも英語プログラムと非英語プログラム、EX と TSA が実施されている場合があります。
WEB 出願締め切り後の変更、修正はできません。

(2) 出願必要書類提出

- ・ 場所：22号館1階 Waseda Global Gate

※西早稲田、所沢、本庄、北九州キャンパスの学生は所属事務所に提出も可能。

志望するプログラムへの出願に際し必要となる書類を下記①～⑦を番号順に揃えて提出してください。提出書類の紙サイズは、可能な限り **A4 サイズ** でご用意ください。なお、一旦提出された書類の返却は行いませんので注意してください。また、提出前に、自分用の控えとしてコピーを忘れずに取ってください。

- ・ 本要項の「付録」にあるカバーレターにチェックの上、書類に添えて提出してください。

(2)－1 全員

①大学派遣留学プログラム誓約書3部（原本1部とコピー2部、両面印刷、裏面も記入）

- ・ 留学センターのWEB ページからダウンロードした所定の誓約書を使用し、必要事項を記入して提出してください（保証人の方の署名捺印も必要、日付も忘れずに記入してください）。
- ・ 両面印刷並びに裏面にも記入することを忘れないでください。学生本人、保証人の方両方の署名捺印が完了した後にコピーをとり原本とともに提出してください。
- ・ 外国籍の方で印鑑がない場合は、記名＋署名が必要なので注意してください（保証人欄含む）。

② 英文成績証明書（原本1部）

- ・ 博士後期課程学生は修士課程・博士課程の2種類の証明書を提出してください。修士課程学生は学部課程および修士課程の2種類の証明書を提出してください。
- ・ 交換留学プログラム応募条件の成績は修士課程以上のものを対象とします。ただし修士1年生で修士課程の成績が提出できない場合は、学部の成績を対象とします。
- ・ 学部生は、学部の証明書を提出してください。
- ・ 国際教養学部の学生は、提出の必要はありません。 事務所経由で留学センターに提出されます。
- ・ 学部の1年生で、まだ早稲田大学での成績が出ておらず、GPA が算出できない場合は、GPA 要件のあるプログラムへは出願できません。GPA 要件の無いプログラムに出願する場合は、高校の英文成績証明書を提出してください。
- ・ 学部4年生で、早稲田大学の大学院に進学が決まっている学生は、大学院合格通知書も提出してください。
- ・ 英文成績証明書は自動証明書発行機から入手することができます。
(<http://www.waseda.jp/navi/services/opentime-certificates.html>)

(2)－2 英語プログラム出願者

③TOEFL iBT、PBT のオリジナルスコア (Examinee Score Report) /IELTS スコア（原本1部）

- ・ 応募時に TOEFL のスコアカード (Examinee Score Report/2013 年 1 月以降受験分) を提出してください。(A4 サイズのまま提出。切り取らないこと)
- ・ イギリスの大学に出願する場合は IELTS の提出も認めます。出願時点で有効なものを提出してください。
- ・ TOEFL-ITP で出願できるいくつかのプログラムを除いては、iBT、PBT いずれかのスコアカード (Examinee Score Report) が必要です。
- ・ TOEFL-iBT については、WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウトでも受け付けます。スコアや名前が切れないように気をつけてください。ただし、後日そのプリントアウトと同一のオリジナルスコアカードを必ず提出してください。最終的にオリジナルスコアカードの提出がない場合は、無効となりますのでご注意ください。

※ TOEFL の Examinee Score Report は、オンラインでのテスト申込時に My Home Page のスコア通知設定 (Score Reporting Preference) ページで「オンライン上でのスコア確認及び郵送での通知」を選択しないと発行・送付されません。

◆スコアの扱いについて◆

1. 各大学の要求スコアについて
各大学の要求スコアを超えるスコアを取得していることが必要です。
2. 有効期限について
2013 年 1 月以降受験分が有効となります。
3. スコアカードは原則として返却いたしません。
4. 特に、TOEFL の有効期限は 2 年間なので、派遣先大学への出願の際、およびビザ申請に必要な書類が派遣先大学より発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要となりますので注意してください。

(2)－3 非英語プログラム出願者 (EX(TSA)、TSA のみの出願者を除く)

④教員による「語学能力証明書」

- ・ 留学センターの WEB ページからダウンロードし、**出願者全員必ず**提出してください。
- ・ 教員による語学能力証明書を提出する場合には必ず**教員に留学センター指定の厳封用封筒(で厳封してもらった状態)**で留学センターに提出してください。
- ・ すでに他の留学プログラムにて現在留学中の場合は、理由にその旨を記入し、現在の語学能力を証明できる教員に依頼し、厳封した状態で提出してください。
- ・ 応募プログラムが、母国語のプログラムなどの理由で、語学能力証明書を提出できない場合には、その理由を証明書欄に記述して、提出してください。

(2)－4 非英語プログラム出願者 (EX(TSA)、TSA 含む)

⑤「各種語学能力公的試験等のスコアやレベルの試験結果」(原本 1 部)

- ・ 客観的な語学能力証明として、「各種語学能力試験等公的試験等のスコアやレベルの試験結果」(HSK、仏検、独検など)を所持している場合はできる限り提出してください。
- ・ プログラムによっては各種語学能力証明書(原本)の提出が求められるものもあります。それらのプログラムに応募する場合は、学内選考後現地に出願する際、要求レベルを超えたスコアカードの原本を提出することが出願条件になります。

(2)－5 アーラム・カレッジ DD 出願者

学内選考発表後、アーラム・カレッジ側の選考が行われます。出願者は単願・他のプログラムとの併願に関わらず、①～③に加えて下記の書類も提出が必要となります。

⑥アーラム・カレッジ専用願書

⑦アーラム・カレッジ専用エッセイ (2 種類)

⑧アーラム・カレッジ専用 Academic Advisor' s Report Form

⑨財政能力証明書

⑩パスポートのコピー (顔写真のページ)

(3) 併願について

所属学部・研究科の箇所間協定によるプログラムとの併願は認められません。

ただし、留学センターの出願書類提出期限(1月15日(木))までに、その結果が判明する場合はこの限りではありません。箇所間協定の結果が出た段階で、留学センターのプログラムは辞退する旨、留学センターに連絡をしてください。

5. 選考について

(1) 早稲田大学内選考と派遣大学からの受入許可

この募集要項は、早稲田大学内での選考についてのものです。この学内選考を経て派遣候補者に選ばれた皆さんは、早稲田大学から推薦された学生として、派遣先大学に応募する資格を得たことになります。

しかしながら、それは派遣先大学からの受入許可を 100%保証するものではありません。実際に留学できるかどうかは、派遣先大学の選考によって最終決定がなされますので注意してください。

また、派遣候補者に選ばれた後においても選択科目、学業不振、書類提出の締め切りを守らない場合、必要な手続きを行わない場合や、オリエンテーションへの出席が著しく悪い場合など、留学をするにふさわしくないと留学センターが判断した場合は、渡航直前や渡航後であっても、留学中止の勧告を行うことがあります。留学センターからの案内には十分に注意してください。

派遣候補先大学への出願手続きならびに派遣先大学での選考は 2015 年 2 月～2015 年 8 月にかけて行われます。

(2) 選考方法

- 学業成績 (GPA)
- 語学能力 (TOEFL 等の公的試験など)
- 学習・研究計画書
- 所属学部・研究科での適性判断 (方法は各所属箇所により異なる)
- 面接 (面接必須英語プログラム、非英語 EX プログラム)
- エッセイテスト (面接必須英語プログラム)
- 中国語レベル判定試験 (中国語 EX プログラム)

上記を選考要素として総合的に判断し、より総合力が高いと判断された学生から志望順位の高いプログラムの派遣候補者に選出します。

(3) 各プログラムの選考について

① 面接必須英語プログラム

- ・ 面接必須英語プログラムに出願する学生は、1 月 12 日の週に行われるエッセイテスト (英語)を必ず受験する必要があります。エッセイテストの事前予約は必要ありません。
- ・ エッセイテストの結果と GPA (3.0 以上を目安) を選考要素とし、面接試験の対象者を選考します。
- ・ この事前選考を通過した学生のみ、1 月 19 日の週に行われる面接試験の対象者となります。
- ・ 面接必須英語プログラムの派遣候補者の発表は 2 月 2 日 (月) に行いますが、この時点では「仮合格」と位置づけます。
- ・ 面接必須英語プログラムの「仮合格者」として選抜された学生は、ライティング強化講座 (2015 年春休み期間中 (3 月)、全 10 回実施予定) の受講義務があります (有料)。同講座における評価と入学以降～2014 年度末までの所属箇所の学業成績を確認した上で総合的な判定を行います。その結果に基づき、最終的な派遣候補者を派遣予定先大学に推薦します。
- ・ ライティング強化講座の詳細については **9. プログラム別 特別講座 (p.19)** を参照してください。

①-1 アーラム・カレッジ DD プログラム

このプログラムに関しては、2 月 2 日 (月) の学内選考結果発表と同時にアーラム・カレッジ所定の出願書類をアーラム・カレッジに提出します。アーラム・カレッジ側の選考を経て、最終可否は別途発表予定です。

② 中国語 EX プログラム

- 中国語 EX プログラムに出願する学生は、1 月 12 日の週に行われる中国語レベル判定試験、並びに 1 月 19 日の週に行われる面接試験を受ける必要があります。試験の事前予約は不要です。
- 中国語レベル判定試験の結果に関わらず、基本的には全員面接試験も受験します。

③ 非英語プログラム (EX)

- 非英語の EX プログラムに出願する学生は 1 月 19 日の週の面接試験を受ける必要があります。
- 非英語プログラムのうち、EX (TSA) プログラム、TSA プログラム、または中期プログラムのみを志望している場合は、面接試験の受験は必要ありません。

④ 上記以外の英語 EX、EX (TSA)、TSA、ISA プログラム

- 留学センターでは、筆記試験・面接試験を行いませんが、所属学部・研究科での留学適性判断において各所属学部・研究科による面接が実施される場合があります。

(4) 学内選考結果発表の確認方法

The screenshot shows the Waseda University portal interface. At the top, there is a header with the Waseda logo and 'portal' text. Below the header, there is a navigation bar with various links like 'Top Page', '授業', '学生生活', etc. The main content area displays a notification titled '早稲田 政経太郎さんへのお知らせ' (Notification to Masahito Hara). The notification text mentions '英語日-37の試験結果について' (Regarding the exam results for English Day-37) and '2004/08/17 第一文学部' (2004/08/17 Faculty of Letters). A blue callout box points to the notification with the text 'この個別通知にメッセージが表示されます。' (A message is displayed in this individual notification).

- 選考結果の発表は、この画面の「〇〇さんへのお知らせ」で行います。
- お知らせの表示期間は、結果発表日から 3 ヶ月間です。その後、自動的に消えます。

6. 留学期間について

- 留学期間は、プログラムによって異なります。EX は原則として 1 学年間（2 セメスター）ですが、1 セメスターのものもあります。EX (TSA) は 1 学年間、EX (1 セメスター) は半期のプログラムです。中期プログラムは、1 セメスター（半期）のみです。DD プログラムには 1 学年間のものに加え、1.5 学年間と 2 学年間のものがあります。
- 1 セメスタープログラムで留学をした場合、春学期もしくは秋学期の 1 セメスター間、海外の大学で学ぶことになります。1 セメスターのみの短期集中型留学プログラムとなりますので、出発前の準備が非常に重要となります。
※ 1 学年間の留学が必修となっている国際教養学部 of 学生は、1 セメスタープログラムを修了しても留学の要件を満たしませんので、応募に際しては、学部事務所担当者に事前に相談してください。
- 今回募集するプログラムで留学する場合、留学期間終了の次の学期から早稲田大学に復学することが原則です（留学プログラムの延長は、原則認められていません）。
- 特別な事情を除いて、プログラムにはその期間終了まで参加することが求められます。
- 留学期間中は、早稲田大学での科目履修はできません。ただし、留学終了年の春学期後期に実施する Waseda Summer Session は履修可能です。履修可能な学生には留学センターよりご案内します。
- 本人の事情で途中帰国した場合には、プログラムフィー、プログラム開発・運営費、ダブルディグリー登録料、早大学費等は返金されません。
- オセアニア地域のプログラム、韓国の一部のプログラム、イタリアのヴェニス国際大学（留学期間は 1 セメスター）は、来年度春学期にも募集を行います（出発は、2016 年の春学期となります）。

7. 費用について

(1) EX プログラム

- EX プログラムに参加する場合、早稲田大学での所属箇所の学費等を支払えば、派遣先大学での学費が免除されます（一部プログラムを除く）。
- ただし、協定校によってその項目は異なりますが、**College Fee**、**Technology Fee**、**Mandatory Fee** 等、**学費以外に現地で別途費用がかかる場合があります**。その金額は派遣先大学によって異なりますが、場合によって年間 1,000 US ドルを超える負担が必要となることがあります（特に北米の交換協定校、オレゴン州立大学連盟、カリフォルニア州立大学連盟、ニューヨーク州立大学等）。
- 詳細については、22 号館 1 階 Waseda Global Gate でご確認ください。

※延長生で交換留学にて留学をする学生については、延長生学費ではなく、各学期とも所定額を徴収されます。大学院の延長生の場合、研究指導のみとなっている者で派遣先でも研究指導のみを受けることを出願時に申し出た場合、2005 年度以前の入学者については、春期は所定額、秋期は研究指導料のみの徴収となり、2006 年度以降の入学者については、各学期とも所定額の 50%の徴収となります。

(2) DD プログラム

- 今回出願対象のアーラム・カレッジの場合は TSA や ISA プログラムと同様に、派遣先大学の学費等を早稲田大学に支払うことによって、早稲田大学の学費が免除されます。
- いずれの場合も、ダブルディグリー登録料（15 万円）が別途必要になります。

(3) TSA・ISA プログラム

- プログラムフィーには、現地での学費、プログラム開発・運営費（1 学年期間 10 万円）などが含まれています（プログラムリストの“Estimated Tuition”に示されている金額）。
- 宿舍費や食費（プログラムリストの“Estimated Room & Board”に示されている金額）、また、設備費やオリエンテーション費等は渡航後にご自身で派遣先大学に支払うことがほとんどですが、いくつかのプログラムでは、プログラムフィーに加えて早稲田大学に納めていただく場合があります。
- また、プログラムリストにある円建ての金額は、**昨年度実績をベースに日本円に換算した目安**ですので注意してください。派遣先大学の学費、為替レートの変動、外国政府の財政状況や政策変更などに伴い、金額が上昇する場合があります。実際の納入は、**派遣先大学からの請求金額を学内規定レートにて日本円に換算した金額を留学センターの指定口座に送金いただきます。**
- プログラムフィーは、指定期日までに留学センターの指定口座にお振り込みいただきます。

※同じ国への留学であっても、派遣先大学において請求金額が確定する時期によって、換算レートが変動します。

※“Estimated Room & Board”の金額には昨年度実績ベースではないものも含まれています。

8. 派遣留学奨学金

下記（１）～（３）の奨学金は全て給付型の奨学金となります。

（１）WSC メンバーズ基金グローバル人材育成奨学金

「WASEDA サポーターズ倶楽部（WSC）」は、本学の教育・研究活動に伴う各種事業への財政的支援のために、年度会員から、毎年度一定額を寄付金として拠出いただき、本学から各種サービスを提供する制度です。WSC メンバーズ基金グローバル人材育成奨学金は、WSC から支援を得て、海外派遣留学 者に対する支援策として設立された奨学金です。

対象	早稲田大学留学センターの EX プログラム DD プログラムにて留学する学部生のうち、特に成績優秀な学生
奨学金	年額 100 万円
採用者数（予定）	10 名

（２）海外留学支援制度（協定派遣）

文部科学省の外郭団体である（独）日本学生支援機構の奨学金です。

対象	早稲田大学の派遣留学プログラムで留学する学部生・大学院生のうち、日本国籍を有する学生及び日本への永住が許可されている外国籍学生
奨学金	月額 6～10 万円 ※地域によって異なる
支給期間	12 ヶ月以内
採用者数	未定

（３）早稲田大学学生交流奨学金

対象	早稲田大学の派遣留学プログラムによって留学する学部生・大学院生
奨学金（予定）	年額 25 万円
採用者数（予定）	150 名

（４）奨学金申請に伴う留意事項

- ・ 必ずしも全員が受給可能とは限りません。出願しても留学の経費負担計画には含めないでください。
- ・ 上記（１）～（３）の奨学金については支給内容が変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。詳細は 2 月 9 日（月）の派遣候補者決定直後オリエンテーションにて、説明します。
- ・ 上記（１）～（３）の奨学金は他の奨学金との併願は可能です。他団体等の奨学金を併願する場合、それぞれの要項にて、併願の可否を各自で確認してください。
- ・ 上記（１）～（３）の奨学金の受給者発表については、2015 年 7 月～8 月を予定しております。
- ・ 平成 26 年度より日本学生支援機構奨学金（第一種、第二種貸与型）については、奨学課にお問い合わせください（戸山キャンパス学生会館 1 階）。

※上記（１）～（５）の奨学金の実施内容は変更の可能性がありますので、最新情報を留学センターホームページで必ず確認してください。

<http://www.cie-waseda.jp/jp/sa/other/sc/#a01>

9. プログラム別 特別講座

< 2015年度 早稲田大学派遣留学 冬募集 >

(1) 面接必須英語プログラムに対するライティング High Advanced 講座について

※このページに記載されている内容は、2014年12月17日現在のものです。

- 対象校（面接必須英語プログラム）は以下のとおりです。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・アールム・カレッジ（米・DD）・ペンシルバニア大学（米・ISA）・パリ政治学院（ル・アール校、ランス校も含む）の英語プログラム（仏・EX） |
|--|

- 今後何らかの事由で対象プログラムやライティング High Advanced 講座の内容が変更される場合があります。その場合、変更が発生した時点での留学センターによる決定、告知内容がこのページの記載内容より優先されます。
- 詳細が決まり次第、留学センターのWEBサイト上でお知らせします。

上記のプログラムについては、参加する早大生に対して対象校から高度な英語能力が要求されています。ここでの英語能力とは TOEFL スコアだけではかることができないものではなく、現地で正規学生・教員とともに授業に積極的に参加、課題に取り組み、共にアカデミックな成果を挙げることができる、総合的な英語力です。

対象校からの早大生に寄せる期待と対象校のほとんどがプログラムで語学学習をサポートする授業を提供していないことを鑑み、留学センターでは対象校への派遣候補者全員に対し選考過程の一部として、ライティング High Advanced 講座の受講を義務付けています。

- ※ 2月2日（月）の結果発表で対象校への派遣候補者となった方については、その時点で「仮合格」と位置付けます。仮合格の後、留学センターの指定するライティング High Advanced 講座を受講（有料）いただき、同講座における評価と入学以降2014年度秋学期末までの所属学部・研究科の学業成績を確認したうえで、3月下旬に総合判定を行い、最終的な派遣候補者を決定する予定です。
本講座を受講しなかった場合、「仮合格」が取り消されることもあります。ご注意ください。
- ※ ライティング High Advanced 講座の詳細（受講料・講座内容ほか）については留学センターのウェブサイト上で随時告知していく予定です。2月2日（月）の結果発表で対象校への派遣候補者に選出された方は、2月上旬の派遣候補者決定直後オリエンテーションにて案内します。
- ※ 現時点では、3月中の5日間を予定しています。受講必須となっている該当者の方は、必ず受講できるようスケジュール調整をしてください。なお、講座実施期間に変更があった場合は、留学センターWEBサイトで告知しますので、注意してください。

10. 留学中の単位について

- 全てのプログラムにおいて、前提とされる科目（Pre-requisite）を履修していない場合や、履修人数の制限により、派遣先大学において希望の学部での履修が認められなかったり、受講を希望する科目に登録できないことがあります。
- プログラムは、皆さんが学ぶに値すると判断された内容になっていますが、現地大学で取得した単位が早稲田大学の所属学部・研究科の単位として、自動的に認定されるわけではありません。
- 派遣先大学での取得単位がどれだけ早稲田大学での単位として認定されるかについては、各所属学部・研究科の判断に委ねられています。修業年限（学部は4年）での卒業が保証されてはいませんが、事前に所属学部・研究科にもよく相談して、誤解のないようにしてください。

1.1. 査証（ビザ）取得について

- ・ 査証（ビザ）は渡航先国の目的において定められた入国や滞在に必要な書類の一部であり、各国の移民法に準じて定められています。
- ・ 査証の取得に関する諸条件をはじめ、その手続き（申請）方法、必要書類（申請書等）や申請費用などにおいても全て渡航先国によって異なり、またその条件等は予告なく頻繁に変更されます。
- ・ 留学先ごとの査証取得の際、残高証明、翻訳証明、銀行口座通帳等の提出を必要とする国もあり、諸手続の際はそれらの書類を速やかに準備しなくてはなりません。留学を希望する国の大使館や関連ホームページで必ず最新の情報（必要書類・申請料・申請期間等）を得るようにしてください。
- ・ 査証取得の手続きの責任は、全て申請者の責任として委ねられていることをご理解ください。

◆オーストラリアのプログラムに関して◆

- ・ 日本国籍保有者以外のオーストラリアの留学ビザ申請には、IELTS や TOEIC など TOEFL 以外の試験でも各協定校が要求するスコアをあらかじめ取得していることが条件となっています。
- ・ したがって、協定校の要求 TOEFL スコアをクリアして早稲田学内の選考を通過し本学の派遣候補者となった場合でも、その後**必ず TOEFL 以外の指定試験を受験して所定の要求スコアを取得することが必要**です。指定試験の所定スコアをクリアしないとビザの申請をすることができず、結果的に渡航不可となりますので十分ご注意ください。
- ・ なお、ビザ申請についての情報は予告なく頻繁に変更されますので、オーストラリアの協定校へ出願される場合には最新情報をご自身でもしっかりと確認し取得するように努めてください。
- ・ オーストラリアのビザ申請詳細ウェブサイトをご参照ください。<http://www.immi.gov.au/>

◆イギリスのプログラムに関して◆

UKVI (UK Visa and Immigration) によるイギリスのビザ規定の変更に伴い、イギリスの大学へ留学をする場合、ビザ発行に必要な書類（CAS）の取得に際し、TOEFL 以外の英語能力試験の受験が必要になりました。

（例） IELTS (Academic)
Pearson Test of English Academic

※TOEFL は原則英語力の証明として承認されません。

【注意①】

留学センターで実施する 2015 年度派遣留学冬募集の学内選考では、イギリスの大学へ出願される方は **IELTS のスコアも選考の要素として提出を受け付けます。**ただし、PL (Program List) では昨年募集時の基準点を掲載していますので、**学内選考では TOEFL のみのスコア提出も可能**です。

さらに、**イギリスだけでなく、アメリカ等他の英語圏に併願する場合は引き続き TOEFL のスコアの提出が必要**ですので、ご注意ください。

【注意②】

出願時点では IELTS を未受験でも、イギリスの大学へ派遣が決まった場合は、派遣先大学が定める所定期間までに上記の語学能力試験のスコア取得が義務付けられています。

なお、各大学の PO (Program Overview) では、TOEFL のスコアを選考基準として認め、CAS の取得ができる、としているプログラムもあります。その場合、IELTS のスコアは不要ですが、VISA 発行の要件は予告なく変更される可能性がありますので、**UKVI の HP を確認し、十分ご注意の上、準備を進めるようにしてください。**

12. 危機管理について

(1) プログラム選択時の海外での安全情報の確認

「2014-2015 STUDY ABROAD 留学の手引き」 日本語版 p29 記載のとおり、留学先地域の検討に際しては、自分自身で地域の安全情報を確認するとともに、現在の国際情勢では、渡航、滞在中も常に注意が必要であることに留意してください。

- ・ 外務省では、海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/> で、地域別国一覧から、その国の最新の海外危険情報、過去の情報データベース、多発している事件の傾向と対策など、きめ細かな渡航情報を提供しています。
- ・ 「危険情報」が出されている地域もありますので、当該地域を留学先として検討している場合には、自己責任がとれる範囲内で学習や研究上の必要性を勘案した上で出願してください。

(2) 早稲田大学義務付け海外旅行保険への加入

留学センターの長期派遣留学プログラム（1 セメスター・中期含む）に参加する学生は、いかなる理由にかかわらず**本学の指定する海外旅行保険（東京海上日動火災の海外旅行保険）への加入が義務付けられており、加入しない状態での留学は認められていません。**

- ・ 本学指定の海外旅行保険は、一般的な保険料に比べ割引率が高いものとなっています（12 ヶ月で10 万円～13 万円前後/2014 年度参考）。
- ・ 派遣先大学においても健康保険や医療保険への加入を求められる場合には、早稲田大学義務付け保険加入と合わせて、必ず現地保険への加入が必要です。派遣国、派遣先大学や期間によっても異なりますが、留学期間中の保険料として小額な場合で3 万円から、高額な場合だと18 万円程度必要な場合があります。

※精神的疾患、歯の治療費、また持病と見なされる場合(既往症)には早稲田大学が加入を義務付けている保険の補償対象外となります（その他の補償対象の有無は保険補償規定に準じます。）。

※本学義務付け保険の保険料は、前年度における事故損害件数や補償額により変動します。保険料のお支払いについては、派遣手続き開始後にすみやかに指定の保険代理店口座へお支払いをいただく必要がありますので、あらかじめご了承ください。なお、2015 年度の正式な保険料確定は12 月下旬以降となる予定です。

(3) 海外携帯電話レンタルサービスへの加入

- ・ 留学期間中の様々なリスクに対応するために、**派遣学生全員へ留学センターが包括契約をする海外携帯電話レンタルサービスに必ず加入いただきます。**
- ・ 登録費用や毎月の基本料は全て無料となります。
- ・ お支払いいただくのは、使用した通話料*、および通信料（ショートメール料金含む）のみとなります。
- ・ 加入手続きの際は、清算に必要なクレジットカードの登録が必要です。

※着信料は国により異なります。